

平成30年度岐阜県大会

## 生徒講評文

8月 4日 2校目

郡上北 高等学校

### 死神の輪舞曲【ロンド】

(既成・創作)

この劇のテーマは『繰り返す』『人間の弱さ』だと思う。香は家では暴力、学校ではいじめにあい精神的な苦痛を感じ家出する。行く当てもなく、うずくまっている香に一人の男が声をかけた。男に「人生が楽しくなる魔法のアイテム」と言われ麻薬を渡され手を染めてしまう。香はどんどん狂っていった。そんな香を幼馴染の月が救おうとするが間に合わず倒れてしまう。ロンドの意味と同じように月も麻薬に手を染めてしまうのではないかと考える。

キャストは発声が良く、聞き取りやすかった。特に男役の方はマスクをつけている状態でも良く声通っていて素晴らしかった。○、△、□、×が家族・学校ごっこをする場面や、香を責める場面はまるで人格が変わったかのような演技、身体表現ができていた。

舞台装置はステージを上下二つに分けることにより上では現実、下では香の幻想の世界を表していた。また、上のステージを引き割り幕でせめ、舞台の間口を狭くすることにより、香にとって現実は生きづらい場所であることを表現していたと考えた。

照明は、現実の場面では薄暗い色、幻想の世界の場面ではピンク色を用いるなどして、現実とは違うより不気味な感じや、異世界感を表現していた。また、演技だけでなく、照明によっても香の感情が見事に演出されていた。

この劇を通して、香が狂っていく姿から麻薬の怖さを、月が麻薬に手を染めてしまうかもしれない姿から、自分も例外ではないということを改めて気づかされた。ぜひ沢山の人の見てもらいたい作品だった。

郡上北高校の皆さん、お疲れさまでした。

大垣日本大学高校 田上璃温

